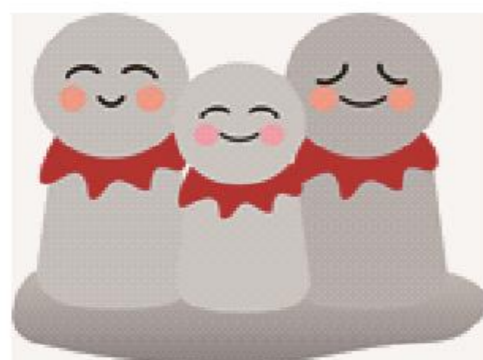


第8回 おごおり俳句&ウォーキングを開催しました！



6月15日(土)俳人種田山頭火ゆかりの地である小郡をウォーキングしながら俳句を楽しむ「第8回おごおり俳句&ウォーキング」を行ないました。

今年は、「令和元年」と新たな時代の始まりにふさわしい神と仏の地、長谷・柏崎地区を巡り、神々と俳句を通じてご縁をいただいた句会でした。



当日は、開催も危ぶまれるほどの大雨予測でしたが、神々のご加護のお蔭で、弁財天池と猿田彦神社という短縮吟行となりましたが、無事開催できました。

当館専門員の解説の他、地域の方にお話をさせていただくなど良いご縁もいただけ、和やかな雰囲気にもまれ進行しました。館に戻り、作句を行って句会となりましたが、神々や花鳥風月の他、雨にまつわる素敵な俳句が数多く詠まれ、楽しい時間となりました。

第八回おごおり俳句&ウォーキング（山口市小郡文化資料館）

令和元年六月十五日（土）

25	未草雨もまたよし傘の花	24	坂上の洋館にそう夏椿	23	雨含み花房重しくちなしは	22	紫陽花の色に染まりし住宅地	21	梶子や散歩じやないのウォーキング	20	南瓜畑抜け水の神火の神へ	19	伐られなほ森様に添ふ檜若葉	18	雨せはし美容柳の花無数	17	老鶯の声きこゆるもなき辨天池	16	行きすぎてなほ梶子の花かほる	15	匂ひきてふと見下す栗の花	14	お社は後に傾き蝸牛	13	葉をつたい真近で見たい睡蓮か	12	アジサイは小さな花の大家族	11	梅雨入りや古びし灯籠苔むして	10	老ゆる足緑雨の中を吟行す	9	覗き見るお天師堂や五月闇	8	弁財天守らる池や夏の雨	7	カラフルな雨傘一行梅雨吟行	6	神仏のふるさとだとか深呼吸してる	5	梅雨最中俳句づくりの地藏様	4	番地より字で問ふべし未草	3	弁天池睡蓮白き炎を点す	2	梅雨兆す弁天池の黄水蓮	1	弁天池の昔話しや七変化
50	喜雨の中守られ神に手を合はす	49	新幹線の辞儀の速度や猿田彦	48	睡蓮あり弁財天にモネをみる	47	手入れよき畑こんもりと夏野菜	46	紫陽花の色際立てり雨のすじ	45	青梅雨の雑草だらけ我が畑	44	水に浮くスイレンの葉とアメンボと	43	走り根の濡れて光るや苔の花	42	ぎしぎしや留守居の夫の如何にぞや	41	枝下され猿田彦見し新幹線	40	黒南風やさらに足元おぼつかな	39	梅雨傘をたたみて低き鳥居かな	38	水覆う蒲の穂ゆれる弁天池	37	弁天の紙の宿るや蓮の池	36	弁天様の昔を語る梅雨暈	35	蒲の穂に雨音消して神の池	34	枇杷熟るる採る人のなく雨に濡れ	33	五月雨差す傘模様色絵具	32	濃紫陽花祠守りし古老かな	31	紫に改元祝う花菖蒲	30	未草雨の匂ひの花あげて	29	花小さきげんのしょうこや雨そぼる	28	睡蓮の浄土と言へぬ濁り池	27	何処にも動くものなし菱の花	26	弁財天低き鳥居や神の域

第八回お「おり俳句&ウォーキング」(山口市小郡文化資料館)

令和元年六月十五日(土)

75	ふる里は哀し名残す跡みれば	74	青々と池の中なる蒲しげる	73	倒木の竜神のごと黄睡蓮	72	雨の中小郡散策傘の波	71	梶子の香に声高な人のゐし	70	連れ立ちて歩く馬車道梅雨入かな	69	くちなしの雨に打たれて花の錆び	68	弁財天詣で綻ぶ百日紅	67	虎が雨お大師様の朱の法衣	66	猿田彦様いい句を下さい	65	ふるさとの歴史を語る黄水連	64	猿田彦神社の大木歴史読む	63	吟行の声みな若き梅雨の傘	62	金の斧差し出す女神や睡蓮花	61	どつぷりと六月の梅雨頂いている	60	雨の日は七色光る虹恋し	59	雨しとど池へ万緑垂れけり	58	梶子の花の山手を歩きをり	57	歩を止めし雨の吟行沙羅の花	56	滴りや灯籠の文字うすく撫で	55	スイレンの葉を居間にして集う虫	54	今昔の地域守りて地蔵あり	53	令和では出水無きよう祈る空	52	弁天池水なみなみと五月雨	51	五月闇迷はず生きよと猿田彦
100		99		98		97		96		95		94		93		92		91		90		89		88		87		86		85		84	河骨の花一つ浮く弁財天地	83	句が出ない寄る年なみか	82	弁財天旧きを語る水連の花	81	傘の花歩く吟行梅雨入かな	80	品川神社ぬかづいて聞いているもの	79	曲り道行き着く先や四葩の花	78	六月や狭間の野菜生き生きと	77	梅雨空に夾竹桃のうなだれる	76	黄濃くし撓に生りし枇杷の実よ